

►本号の主な内容(12頁)◀

- 2・3・4・5面 綱領・規約
6・7面 戦術に関するテーゼ
8・9面 組織に関するテーゼ
10・11面 共産主義婦人解放運動のテーゼ
12面 第一回党大会報告



共産主義者同盟(红旗)中央機関紙

第1号

1976年 3月25日

月刊=毎月25日発行

1部 250円

通常 8頁 150円

20回分(送料共) 4,000円

発行 紅旗社

本社 東京中央郵便局私書箱1311号
(03) 253-3718

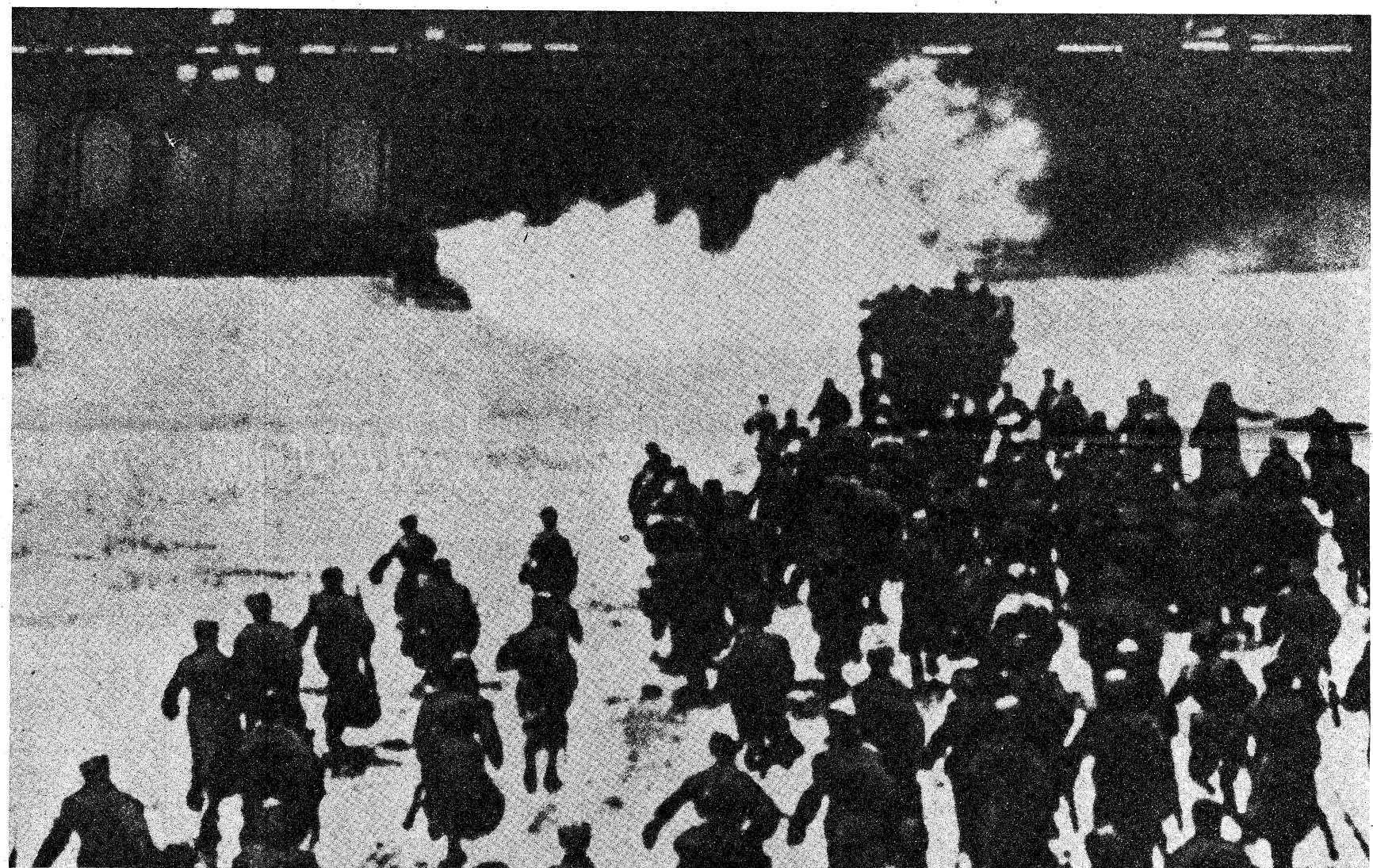
大阪支局 大阪市福島区大關一丁目19-13
沖縄局 那覇市東郵便局

2035号

共産同(红旗)の創建万歳

わが綱領の下、全国の共産主義者・労働者は団結せよ

一九一七年十月二十五日、蜂起したロシアの労働者・兵士たちはペトログラードの冬宮へ進撃した



一九七六年三月×日、共産同(红旗) 第一回大会は、綱領・規約を採択、旧共産主義者同盟(プロレタリア独裁編集委員会)と旧共産主義者同盟全国委員会(ボルシェビキ)の組織統合を戦取、ここに共産同(红旗)が創建された。

大会は、共産同(红旗)が、日共にかわる革命党建設の大道へ、真実、踏み出すことを自己の任務と宣言した。中央委員会は、共産同(红旗)第一回大会の名をもつて、全国の共産主義者と労働者に、わが綱領の下に結集し、団結することを呼びかける。

綱領は、我々の基本的な政治的宣言であり、戦闘宣言である。我々は、この綱領を、日本共産主義運動の混迷・分散・動搖の「第三期」を清算する公然たる戦闘的旗印として提起する。

全国の共産主義者、労働者諸君。日本階級闘争の混迷と分散の一時代——「第三期」を清算し日本社会主義革命に勝利せよ。

世界プロレタリア共産主義革命の勝利万歳！ 万国の労働者団結せよ！ 万国の労働者、被抑圧民族団結せよ！ 全国の共産主義者は共産同(红旗)に結集せよ！ 共産同(红旗)の創建万歳！

声明

① 一九一七年の一・二月革命によって開始された世界プロレタリア共産主義革命は、さぞかしあな困難を経験したが、中国革命、印度シナ革命などを経て、現在なお偉大な發展途上にある。この革命は、資本主義の發展、ブルジョアジーとプロレタリアートの階級闘争が不可避にもたらした結果である。

労働者階級は、その經濟的地位が資本主義的生産様式のおこなわれているすべての國々・地域で同一であり、また、世界交通や世界市場の發展によつてますます緊密に結びつけられているので、プロレタリアートの解放運動は國際的な運動にならざるを得なかつた。世界プロレタリア共産主義革命は、この國際的な結びつきをいつそうよめてくる。

わが党は、日本プロレタリアートとの階級政党である自己を、プロレタリアートの世界軍の一部隊となし、他のすべての國の共産主義者のめざしているものと同一の終局目標を追求する。

② この終局目標は、現代のブルジョア社会の性格との發展行程

この社会では、商品生産が最高度に発展し、資本主義的生産様式が支配している。

この生産様式のもとでは、生産手段の主要な部分を独占している一にきりの資本家と大地主が労働者を経済的に隸属させている。労働者は、自分の労働力を販売することをよがなくされており、ある時間を無報酬で資本家のために（したがってまだ、剩余価値にたがる上層階級のために）働くかぎりで、自分の生活のために働くこと、すなわち生きることをゆるされている貧困奴隸である。

機械制大工業による資本主義的生産様式の発展と資本の蓄積は、所有と労働との分離を不斷に再生産し、一方の極に、より多くの、またはより大きな資本家を、他方の極に、より大量の資労働者を再生産する。この同じ過程は、独立した小生産者を駆逐し、かれらの多くをプロレタリア、半プロレタリアに転化し、残りの部分についても、その社会・経済生活に占める役割を縮小し、資本に

いする貴効能の從属をもつてゐる。そうしたかめ、労働者階級の状態の相対的悪化に、ときにはまたその絶対的悪化にもいつそう急速に導いていく。

⑥ こうして、社会的富の増加を意味する労働の社会的生産力の増大が、ブルジョア社会では、社会的不平等の増大、有産者と無産者との隔たりの拡大、労働者階級の貧困、搾取、肉体的・精神的磨滅、生活の不確かさ、あらゆる種類の隸属、社会的悲惨の増大となる。

⑦ しかし、ブルジョア社会に固有なこれらすべての矛盾が増大し、発展していくにつれて、プロレタリアの数と結束、不満と憤激が増大し、ブルジョアジーにたいする闘争が激化し、資本主義の耐えがたいくびきからの解放をもとめる志向が増大する。それと同時に、資本主義は、生産手段を集中させ、労働を社会化することによって、資本主義社会を共産主義社会にかえる物質的可能性を

13. の投下地域のため、原料のため、労働力のため、つまり世界支配のため、弱小民族にたいする支配権のための戦争が不可避免的に生じる。第一次および第二次帝国主義世界大戦こそ、まさにそういう戦争があつた。

14. 帝国主義は、民族的抑圧と略奪、併合への志向を著しく強め、飢えにあらず植民地、半植民地、被压迫從属諸国を生みだし、地球上の大多数の住民を支配のくびきにしばりつけた。それは、世界的規模で、帝国主義にたいする民族解放闘争を強めざるをえない世界資本主義一般がきわめて高い発展水準に達していること、世界資本主義が自由競争にとって代わったこと、銀行ならびに資本家団体によって物資の生産と分配の過程にたいする社会的規制の機構が準備されていること、資本主義的独占体の成長と関連して、物価騰貴と労働者階級にたいする独占体の圧迫が増大して

16 帝国主義が植民地民族や弱小民族を略奪することによって、ルジョニアはこの略奪によって獲得した超過利潤の一小部でプロレタリアートの上層に特權的地位をえた。それによって彼らを買収し、平時には相当の市民的生活をこの上層に保障する層の指導者を自分の使い、労働代官とした。こうした事態は、労働運動の内部に、日和見主義と社会排外主義の潮流を生んだ。日和見主義は、プロレタリア独裁を否定し、社会改良ストーラーなどで労働運動を階級協調に導くことによって、労働者永遠に奴隸の地位にしばりつけるものにはならない。日和見主義の成長した社会排外主義は、口先での社会主義、実際の排外主義であって、結じて自己ブルジョアジーの略奪者的利益の擁護祖国擁護のスローガンでおおいかくすものである。

ブルジョア社会と プロレタリアートの社会革命

I



④ この資本的生産の発展は、婦人や児童を大量に生産過程に投げ入れる。同時にこの発展は、生産手段に投下される資本部分に

この資本的生産の発展は、媒介や労働を力量的に豊かにするに過ぎない。同時にこの発展は、生産手段に投下される資本部分にたいして、労働力の購入にあてられる資本部分を相対的に減少させるので、過剰労働者軍がますます大量に生み出される。その結果、資本にたいする實労働の従属が増大し、その搾取の度合いがたがまる。

⑤ ブルジョア諸国内部におけるこのような事態は、世界市場におけるそれら諸国相互のたえず激化していく競争とは、たえず増大する数量で生産される商品の販売をますます困難にする。過剰生産は、多かれ少なかれ鋭い産業恐慌となつて現われるが、この過剰生産は、ブルジョア社会において生産力が発展していくことの不可避の結果である。恐慌は、それはそれで資本の集中をいつゝ急速に促し、小生産者をさらにいつそう零落させ、資本にたいする實労働の従属をさらにいつそうふかめ、労働者階級の状態の相対的悪化に、ときにはまたその絶対的悪化にもいつそう急速

いこと、労働者階級が帝国主義国家によって隸属させられてゐること、プロレタリアートの経済闘争と政治闘争が巨大な障壁面していること、帝国主義戦争が惨禍や災厄や零落を生みだしていること、それとともに労働者階級、被擇取労大衆の反抗がまっていること——すべてこれらのことばは、資本主義の破綻により高度の型の社会経済への移行とを、避けられないものにしてゐる。世界資本主義が到達したこのような発展段階にあつては、帝国主義戦争は、不可避的に、プロレタリアートを先頭とする被擇取労大衆のブルジョアジーにたいする内乱に転化した。一九一九年ロシア十月革命は、世界プロレタリア共産主義革命のはじまりをつげた。

帝国主義と

I

世界プロレタリア革命

◎ 労働者階級の解放は、労働者階級自身の事業でしかありえない。こんどの社会のその他のすべての階級は、私的所有を維持する立場にたっている。労働者階級の解放のためには、資本主義の全発展によって準備される社会革命が必要である。プロレタリアートの社会革命は、生産手段の私的所有を社会的所有にかえ、社会の全員の福祉と全面的発展とを保障するために労働者の自發的規律にもとづいて社会的生産を計画的に組織化し、資本制的商品生産一賃金奴隸制を廢止する。

この世界的規模での社会革命によって、社会の諸階級への分裂をなくし、階級差別の廃止とともに、「これから生じるいつき」の社会的・政治的不平等はおのずから消滅し、「各人はその能力に応じて、各人にはその必要に応じて」が実現され、こうして人類全体が解放されるであろう。

◎ この社会革命の不可欠の条件は、プロレタリアートの階級独裁である。すなわち、プロレタリアートはブルジョア国家権力を打倒し、自らの国家権力を闘いとらねばならない。それは、必然的に暴力革命となるざるを得ない。なぜなら、ブルジョア国家権力

アートは、できあいの国家機構をそのまま手に入れ利用することはできず、これを粉碎しなければならないからである。プロレタリアートは、この國家権力をもつて擇取者のあらゆる反抗を鎮圧し、社会革命を推し進めなければならない。

⑩ プロレタリアートにその偉大な歴史的任務を果たす能力を獲得させるのとを自己の任務とする国際共産党は、プロレタリアートをすべてのブルジョア政党に対立する独自の政党に組織し、プロレタリアートの階級闘争のいっさいの現われを指導し、ブルジョアジーの利益とプロレタリアートの利益とが非和解的に対立していることをプロレタリアの前に暴露し、きたるべき社会革命の歴史的意義と必要な諸条件とをかれらにたいして明らかにする。それと同時に、国際共産党は、その他の被擇取勤労大衆の全体にむかって、資本主義社会ではかれらの地位は絶望的であり、かれら自身を資本の圧制から解放するためには、社会革命が必要であることを明らかにし、かれらがプロレタリアートの立場に移つてくるかぎりで、自分の隊列によびいる。



スト権奪還ストに決起した国鉄労働者

三、わが国の、他國、他民族にたいする侵略・干涉の完全な廢止。
四、日本帝國主義の侵略・併合と強制連行の歴史によつてもたらさ
れてゐる在日朝鮮人、在日中国人問題にたいして特別の注意を払
い、彼らにたいする政治的無権利、經濟的・社會的不平等を一掃
する諸策を実施すること。國家機構、公共機關などにおいて、朝
鮮語・中國語を併用すること。外国人登録法、出入国管理令、外
国人學校令、「日韓法的地位協定」などの撤廃。国籍による職業
差別の撤廃など。

五、外国人の出入国と政治活動の完全な自由を保証すること。

六、抑圧民族である日本プロレタリアート、勤労大衆の中に広範に
存在する被抑圧民族に対する差別・蔑視と意識的に粘り強く闘い
そのための思想闘争と教育活動を推進すること。

(三) 経済の分野で

一、ブルジョアジーを收奪し、資本家と地主の所有する生産手段を
プロレタリアート独裁国家の所有にかえること。

二、銀行をプロレタリアート独裁国家の所有にうつし、統一的な記
帳と、一般的の会計の機構に転化すること。

(三) 経済の分野で

七、プロレタリアート独裁国家のもとで、商業を計画的な全國家的な規模で組織された生産物分配にかえること。
八、有産者にたいする高度の累進課税を実施すること。プロレタリアート、半プロレタリアートからの直接税の徴収をやめること。
九、労働者団体が作成した賃金率にもとづいた賃金を保証すること。
一〇、資本家の家主の所有するいっさいの家屋を没収し、労動大衆に解放し、それらの建物の維持費を国家が負担すること。資本家、大地主以外の家屋所有者の利益を尊重し、労動大衆の住宅事情、

三、土地の私的所有を廢止し、プロレタリアート独裁国家の所有にかえること。

四、プロレタリアート独裁国家のもとで、單一の全国家の計画にしたがつて國の經濟活動を最大限に統合し、生産機構を整備し、國の物質的資源を合理的に利用し、その節約をはかること。

五、プロレタリアート独裁国家のもとで、それぞれの生産部門の労働者の多数を組織した団体、たとえば労働組合の、すべての工業機関への参加を実現すること。經濟の運営の直接の仕事に労大衆をきわめて広範に参加させること。

六、プロレタリアート独裁國家のもとで、すべての国民にたいし、生産的労働に従事する義務を課すこと。労働者組織との協力によつて、労働力を國民經濟のあらまことに必要部門の間に正しく分配し、また再分配すること。非生産的な寄生的部門から労働者を生産部門に移すこと。

生活環境を改善し、労働者、勤労大衆の生活条件にふさわしい家屋を大量に建設し、合理的な分散居住を実現すること。

(四) 労働保護と 社会保障の分野で

生活環境を改善し、労働者、勤労大衆の生活条件にふさわしい家屋を大量に建設し、合理的な分散居住を実現すること。

* * *

党は一貫して労働者階級に依拠するものであるが、小ブルジョアジーにたいしては、除々に、計画的に社会主義建設の活動にひきいれる。党は小ブルジョアジーを、ブルジョアジー及び富農から引きりはなすことで、小ブルジョアジーの必要に対し、注意深い態度をとつて、彼らを労働者の味方にひきいれることを自己の任務とするが、その際、彼らの保守性にたいしては彈圧の方策をとらすに、思想的なはたらきかけの方策によって鬭い、彼らの切実な利益にふれるあらゆる場合に、彼らとの実務的な協定をとけるようにつとめる。

(五) 農業の分野で

産的諸活動への参加のための諸策の実施。

(五) 農業の分野で

戦後のブルジョア民主主義的土地改革によって、ブルジョアジーは農民の多くを自らの側に引き寄せた。しかし、その後の資本主義の急速な発展は、独占資本の農村支配をつづめ、農村の階級分化と階級闘争の激化をもたらした。資本主義の下では勤労農民の地位は絶望的であり、金融資本と大地主の圧制から彼らを解放するためには、社会革命が必要である。

党は、農村における階級闘争を發展させるために、次の方策を実行する。

一、党は農半プロレタリア農業労働者を中心とした農民の大衆組織による大資本、大地主の土地の没収を支持し、その管理運営をかれらに委ねる。

三、プロレタリアート独裁国家のもとで、農業を機械化し、農業と工業を結合し、そのついでいのとれた发展をはかり、農村における共産主義建設に工業労働者を広範に計画的にひき入れること。
四、政府・独立資本による土地取り上げに反対する。
五、農業協同組合を利用した、独立資本・富農の搾取・収奪と闘う。
六、農業用機械・肥料・飼料などを安く供給させる。
七、米をはじめ、主な農産物に対する価格保障制度を確立し、生産者価格を高く消費者価格を低く安定させる。

(六) 教育の分野で

党は、現存の教育と学校が、ブルジョア階級支配の道具であることを暴露し、これを共産主義建設の道具にかえる事業を最後までやり上げることを任務とする。

二、保育所などのような、就学前児童のための教育施設網をつくる
こと。

九、他人の労働を搾取しないすべての勤労者が、いかなる形にせよ、労働能力を喪失したり、また、失業した場合にたいし、雇い主と國家が負担し、労働者団体を中心とした被保険者が、完全に自主的に管理し、全面的な社会保障を実施すること。

十、雇用や解雇をはじめとしたあらゆる労働問題の決定に、労働者

闘う労働者の新聞

紅旗

を定期購読しよう

月一回 通常8頁 一部150円
定期購読料(元共) 20回 4,000円

(5) 1976年3月25日

五、婦人、部落、「障害者」民族の解放のための教育を全人民に実施すること。

六、すべての生徒に、國家の負担で、食事、衣服、学用品を支給すること。

七、プロレタリアートの解放事業に奉仕する教育者を養成すること。

八、教育事業に、プロレタリアア労働住民を積極的に参加させること。

九、勉学を希望するすべての人々、なによりもます労働者にたいして、上級学校の講義をひらく公開すること。上級学校で教授する学力をもつてゐるすべての人を上級学校の教授活動に参加させること。新鮮な科学者の入材を講座からしめだしているすべて的人為的な障壁をとりのぞすこと。プロレタリアア農民が、實際に上級学校を利用できるようにするため、學習者に物質的な保障をあたえること。労働者、労動大衆の独学と自修を援助するための校外教育施設網をつくりだすこと。

十、教育にたいするブルジョア国家統制、反動的イデオロギー教育と闘うこと。

(七) 婦人解放の分野で

規

第一 章 同盟員

一、同盟の綱領と規約を認め、同盟の一宗の組織で活動するものは同盟員である。

二、同盟員は、機密を保持し、同盟費を納入り、中央委員会および同盟組織に全活動および人員構成を報告する義務を負つ。

三、同盟員は、その意見を原文のままで、中央委員会または大会に伝達するよう要求する権利がある。

四、同盟への加盟は、加盟を希望するものが二名の同盟員の推せんを受けて申し込む。加盟の決定は中央委員会の定める組織においておこなう。加盟許可の後、所定の期間は同盟員候補とする。

五、同盟員候補は、同盟員とともに活動し、責任をともにする。ただし、被選挙権、決議権をもたない。同盟員候補の期間は原則として六ヶ月とする。候補期間を過ぎたものについては、同盟員とするか否かを審査したうえで承認する。審査において適格と認められないものはさらに候補期間を延長するか、加盟を取り消す。

六、除名されたものの再加盟は、中央委員会が決定する。

育、相続等に關する)を完全に撤廢すること。

二、婦人を家事、育児の負担から解放するために、保育所、公共浴場、公共洗濯所等の諸施設を大規模に建設し、家政經濟を社會的経済にかえる。

三、婦人を広範に社會的生産活動、國家統治の諸活動に參加させること。

四、党は、婦人労働者を肉体的、精神的磨滅からまもり、解放闘争の能力を発展させるために闘う。

1、婦人の就労を完全に保障し、男女同一労働、同一賃金を厳格に実施すること。

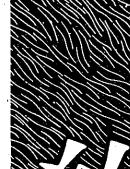
2、産前産後を通して、八ヶ月以上の就業を免除され、その全額賃金、ひきつづき賞金の全額を受け取る。とくに妊娠、出産等にたいする物質的保障(哺乳時間、労働時間の短縮、軽労働への配置、諸費用の無料化など)を國家と雇主に実施させること。

3、母体保護に関する諸策を実施すること。

五、売娼制の廢止。彼女たちを社會的生産活動にひき入れるために社会的、經濟的諸策を実施すること。

六、党は、婦人を奴隸的地位にしばりつけるすべての慣習、道徳、ブルジョア・イデオロギー、男性の主人意識を一掃するため、思想闘争と教育活動をおこすやめる。

第二章 同盟の組織



(八) 部落解放の分野で

部落差別は、近世封建社會において、領主階級が、封建的身分制

度を維持、強化するために、政治的、権力的につくり出した「自身的身分」「一「えた・非人」制度に起源がある。日本資本主義と天皇制権力のもとで、部落大衆は被差別身分に縛、拘束され、職業、結婚、居住、教育など、あらゆる「社会生活」から排除され、窮屈なところへとある社会的悲惨を集中される。半ば社会外の社会におしつめられた。第二次大戦後のブルジョア民主主義のものでも、部落差別は一層巧妙に、一層鋭く、苛酷なものとなつてゐる。ブルジョア支配階級は、一貫して部落差別を、階級闘争のシズメとして利用し、強化してきた。部落大衆は、社会の最底に、また、労働者階級の最下層にくぎつけされている。

今日の部落差別は、封建遺制ではなくて、資本制的私的所有ブルジョア階級支配に、そのもともと深い基礎をおいている。部族の強力なテコとなつてゐる差別観念は、ほかならぬブルジョア・イデオロギーであり、階級支配の強化に役立つてゐる。それゆえ、部落民の身分的拘束からの完全な解放は、プロレタートの社会革命によってはじめてその条件がつくりだされる。から、プロレタリアートの階級闘争の発展をおじとどめ、ほりくす部落差別との闘いを、徹底して組織することは、労働者階級の可欠の任務である。

三、労働者、労動大衆の中に広範に存在する差別観念と、意識的、ねばり強く齧り、そのための思想闘争と教育活動を推進すること。

四、党は以上の目的を達成するために、部落大衆の自主解放組織の能力を発展させるための諸策の実施を国家が保障すること。

二、部落大衆の糾弾権を承認し、糾弾闘争を通じて、部落差別の強化を打撲すること。

欠員ができた時、また特殊の事情のものでは、中央委員会は、中央委員候補を中央委員にすることができる。中央委員候補は議決権をもたない。

士、中央委員会の任命を受けた同盟組織は、一定の地方、もしくはその委託された一定の機能に関する業務をおこない、その任務遂行において中央委員会の決定に従う。全ての同盟組織は、中央委員会に報告の義務を負う。

（九）「障害者」解放の分野で

「障害者」差別は、剩余生産物を生み出す農耕・牧畜の開始と共に、ますます大規模に生み出され、過剰労働者軍の死重として社会的悲惨をおしつけられ、社会から隔離、抹殺され続けている。それは私的所有の廃止、一切の階級差別の廃止の上に築かれる共産主義社会において真に実現される。かくして社会的な抑圧、差別として生み出された「障害者」という呼称そのものも死滅する。党は「障害者」の解放を闘うるために次の政策を掲げる。

一、「障害者」の社会からの排除・隔離・扶養を許さず、かれらの生活を物質的、社会的に保障すること。

二、すべての「障害者」の社会的生産労働への参加を完全に保障する。そのための諸施策（労働環境の改善・整備、職業技術訓練諸施策、および教員の養成、医療施設など）を国家と雇い主の負担で実施すること。

三、生活環境、交通、住居、その他、社会的文化的諸施設を改造し整備すること。

四、教育の保障。

五、すべての差別的諸法律、諸政策（優生保護法、精神衛生法、保安処分等）の撤廃。

六、党は「障害者」に対する差別的偏見と差別意識を一掃するため、思想闘争と教育活動を推進する。

第一章 同盟員

第二章 同盟の組織

第三章 同盟の規律

規約

(七) 婦人解放の分野で

基本となるのは、婦人の政治的自覚を高め、プロレタリアートの旗の下に組織し、婦人の経済的、社会的不平等をなくし、家内奴隸制のくびきからの解放を闘い取るための政策である。

一、婦人に対する法制上の不平等（婚姻、私生児、墮胎、親権、養

紹外校を利用してゐる。するため、学習者に物質的な保障をあたえること。労働者、勤労大衆の独学と自修を援助するための校外教育施設網をつくりだすこと。

会的・生産的労働と密接に結合する。

五、婦人、部落、「障害者」、「民族の解放のための教育を全人民に実施すること。

六、すべての生徒に、国家の負担で、食事、衣服、学用品を支給すること。

七、プロレタリアートの解放事業に奉仕する教育者を養成すること。

八、教育事業に、プロレタリア勤労住民を積極的に参加させるること。

九、勉学を希望するすべての人々、なによりもます労働者にたいして、上級学校の講義をひろく公開すること。上級学校で教授する学力をもつてゐるすべての人を上級学校の教授活動に参加させること。新鮮な科学者の人材を講座からしめだしているすべての人

(八) 部落解放の分野で

2. 産前産後を通して、八ヶ月以上の就業を免除され、その全額聞、ひきつき賃金の全額を受け取る。とくに妊娠、出産等にたいする物質的保障（哺乳時間、労働時間の短縮、軽労働への配置、諸費用の無料化など）を国家と雇主に実施させること。
3. 妃体保護に関する諸策を実施すること。
4. 婦女たちの社会的生産活動にひき入れるための社会的、経済的諸策を実施すること。
5. 婦女制の廢止。彼女たちを社会的生産活動にひき入れるために、思想斗争と教育活動をおこすする。

育、相続等に関する)を完全に撤廃する。
二、婦人を家事、育児の負担から解放するために、保育所、公共食
堂、公共洗濯所等の諸施設を大規模に建設し、家政経済を社会的
経済にかえる。
三、婦人を広範に社会的生産活動、国家統治の諸活動に参加させること。
四、党は、婦人労働者を肉体的、精神的磨滅からまもり、解放闘争
の能力を発展させるために闘う。

度を維持、強化するために、政治的、権力的に起因した「外の身分」——「えた・非人」制度に起源がある。

日本資本主義と天皇制権力のもとで、部落大衆は被差別身分に縛られ、拘束され、職業、結婚、居住、教育など、あらゆる「社会生活」から排除され、窮屈とあらゆる社会的悲惨を集中される半ば外の社会におしつめられた。第二次大戦後のブルジョア民主主義のシズメとして利用し、強化してきた。部落大衆は、社会の最底度のもとでも、部落差別は、巧妙に、一層鋭く、苛酷なものとなつてゐる。ブルジョア支配階級は、一貫して部落差別を、階級闘争のシズメとして利用し、強化してきた。部落大衆は、社会の最底

(九) 「障害者」解放の分野で

共產主義者同盟（紅旗）

第一回大会報告決定集

四月中旬 発行

予価300円

1976年3月25日

党建設は一大事業である

組織に関するテーマ

(写真=『イスクラ』創刊号(1900年12月))

ジーから新聞、学校、議会、行政機關等の如き、影響力をあるう強力な手段を奪つたあとでのみ、ただアルジョア秩序の究極的敗北が、万人に明白になった後でのみ、その時のみ、一切の、あるいはほとんどの労働者は、党の隊列に加わり始めるのである。

ストだけでは、ブルジョアジーに対する勝利を得ることはできない。プロレタリートは武装蜂起に訴えなければならぬ。それを理解したものはだれでも、また組織的な政党が必要であり、無定形な労働者連合では不充分なことを理解しなければならない。

造に近づく傾向を助長する。

としたものにしておくことの基礎の上に、我が党組織の強化・発展を措かねばならない。

第三に我が党は、このような基礎の上に、党的総意によって選出された権力として厳格な中央委員会を建設しなければならない。党は中央指導部なしには党として存続しない。これは既成事実である。

「党的活動は、労働者の階級闘争に助力することにならぬ。党的の任務は、何か当世流行的、労働者援助の手段を、頭の中からあみ出すことではなくて、労働者の運動に加わり、その運動の中に光明を持ち込み、労働者が、すでに自分でやりはじめているこの闘争において、彼らを援助する」とである。党的の任務は、労働者の利益を守り、労働者運動全体の利益を代表することである」。

レーニンは、革命党的基本的な性格と任務について、以上のように主張している。

そして、我が党綱領は、このレーニンの觀点にそつて、労働者運動全体の利益を代表することについて、更に詳しく、次のように述べている。

既ち「プロレタリアートをすべてのブルジョア政党に対立する独自の政党に組織し、プロレタリアートの階級闘争の一切の現われを指導し、ブルジョアジーの利益と、プロレタリアートの利益とが、非和解的に対立していくことをプロレタリアの前に暴露し、きたるべき社会革命の歴史的意義と必要な諸条件とを、彼らに対して明らかにする」と。

我が党は、國際共產主義運動が到達した革命党（＝共產黨）に対するこのよう観点に従つて、党的基本的性格とその任務について概略、以下の二般命題を基本とする。

党に関する一般的諸原則

「**党の任務は、労働者の利益を護り、労働者運動全体の利益を代表することである**」（レーニン）

当面する基本的な組織建設 に関する方針

(一) 縄領上の不一致の上に組織原則はありえない

安定するまで、党はその陣列者の少数部分だけを有するに

さて我が党は、党に関する以上の一般的な命題の厳守の上にたって、當面する我が党建設の基本的方針を次の様に決定しなければならない。

み、確固とした安定したものになるの
あり、綱領上の見解の分裂や不統一の

いてもます第一にこの点に多くの精力を注ぎ、党綱領をますます深め、しつかり

するための機関、宣伝・煽動のための機関、財政収入事業を組織する機関など。

不可欠の条件はプロレタリア独裁である

共産主義婦人解放運動の歴史

婦人の解放は、婦人自らが闘いとするものであり、かつ、この解放事業を首尾一貫して遂行しうるのは婦人労働者のみである

一

(一) 世界史的女性の抑圧と隸属は、私的所有と階級の発生と共に始った。立派な財産の勝利は、奴隸制ならんで、女性の家族、国家、社会における隸属を確立し、女性に男の情欲の奴隸、私有の富の相続人となる子を生む道具として、抑圧、不平等が形成された。

夫婦制を補完とする単婚制（一夫一婦制）のとの間の、社会の諸階級への分裂・対立は、男性による女性の圧迫と一致する。女性の家族、国家、社会における隸属の進歩が、同時に、相対的退歩であり、一方の福祉と發展が、他方の苦痛と抑制をとおして達成される時代が始まった。

人間が他の人間を支配し、貪める者と貧しい者、擡取するものと擡取されるも

三

（上）資本主義的生産様式の発展は、商品だけではなく、剩余価値だけでなく、資本関係そのものを、一方に資本家を、他方に、賃金労働者を生産し、再生産する。この過程は、封建的家族経済を破壊し、その上に成り立っていた家父長制家族を解体した。わずかではあるが、社会的生産の一部としての性格をとどめていた家庭労働を、完全な私的労役と化し、女性の公然あるいは、隠然たる家内奴隸制のつえに繋がれた近代個別家族を生み出し、はじき出す。

（下）大工業・資本主義的生産様式の発展は、女性と児童など、性と年令の区別なく、労働者家族の全員を、資本の直接的統治に引き入れた。これは賃金労働者の数を増加させる手段、男子労働者を一層搾取する手段に転化した。又、全労働者を資本のくびきに、ますますしばりつけると共に、両性的競合を強制している。しかし、資本主義は、全ての婦人を生産活動に引き入れるのでなく、資本の価値増殖の欲求に応じて、婦人を引き寄せ、又、



1954年 近江編糸闘争に決起した婦人労働者たち

い。家内奴隸制は崩壊し始めている。にもかわらず、家内奴隸制からの解放はブレショアの私的所蔵が進歩させている。

(三)

本主義の全発展によつて、準備されるプロレタリアートの社会革命によつてのみ、成し遂げられる。即ち、生産手段の私的所有を社会的 所有にかえ、家政經濟が社會經濟に置きかえられ、個別家族が社會の經濟的基礎であることをやめ、婦人が

四

四 個々の国におけるプロレタリアー
トの偉大な解放闘争は、国際的なものと
ならざるをえなかつた。ロシア革命によ
つてプロレタリアー独裁が実現され、「婦
人の眞の自由は、共産主義を通じてのみ
可能である」を掲げ、婦人解放の世界史
的な一步を実現した。また、第三インター
ーナショナルの建設によって、国際共産
主義婦人解放運動の創始と巨大な橋頭堡
をしるした。

さるに、植民地、半植民地、被圧迫從
属諸国において、労働者・農民を中心と
する帝国主義に対する闘争もまた大きく
発展し、婦人の鬪いも高まつた。

ロシア共産黨と第三インターの内部に
現代修正主義の潮流が發生、成長し、第
三インターは変質、解体した。現代の修
正主義がソ連共産党を制圧することによ
つて、プロレタリアー独裁のブルジョア独

もつとも進歩的な、共和的・民主的国家ですら、完全な同権をもたらはしなかつた。「自由と平等」のから高いスローガンを掲げたブルジョア国家は、吐き気のする、野蛮なやり方で、実際に、婦人の不自由と不平等をおおいやすくし、ごまかしている。このごまかしをうなだねせ！プロレタリア婦人は、ブルジョア国家のあれこれの改良でなく、この国家を打ち倒し、プロレタリアートの國家権力を闘争するには、広範な婦人の参加と協力なくして不可能である。

ブルジョア社会に固有なこれらの矛盾が増大、発展していくにつれて、労働階級の一翼として、男子と並んで、資本によって、結集され、組織され、教育され、成長しつつある、プロレタリア婦人の数と結束をも、増大する。資本主義に対する闘争も激しくなる。

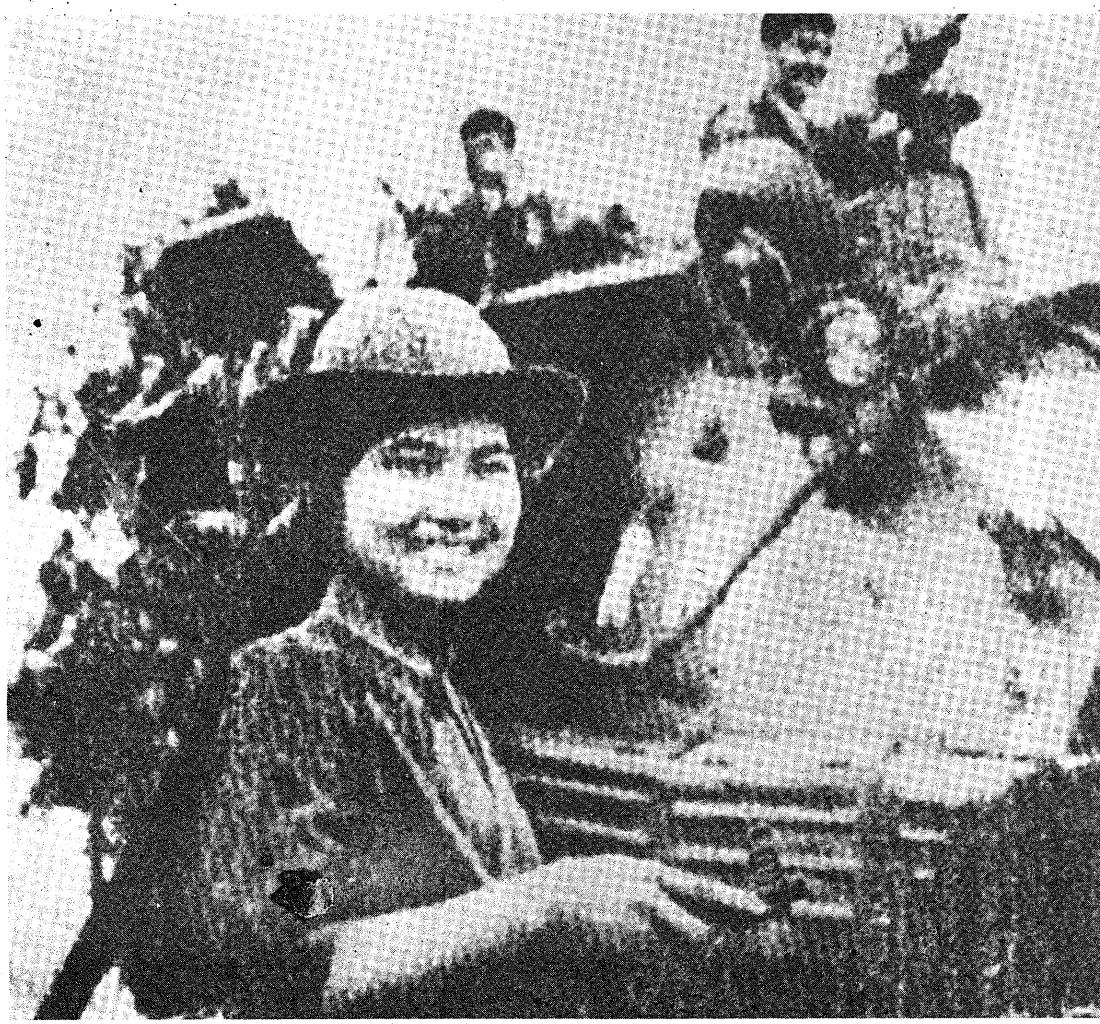
社会的生産活動に組織される、法律上の不平等の撤廃、國家統治への参加が必要である。

こうした社会革命によって、はじめて女性は家庭内奴隸制から解放され、あらゆる意味での眞の平等を実現し、婚姻は打算婚の性格を除去し、夫婦も完全に消滅する。長期にわたる、困難な風習慣習の根本的改造を伴つ、世界的規模でのプロレタリアートの社会革命によって、社会の諸階級への分裂をなくし、階級差別の廢止と共に、これから生じるいつきいの社会的政治的不平等はおのずから消滅する。

この社会革命の不可欠の条件は、プロレタリアートの階級独裁である。

ブルジョア国家は、どれ一つとして、もっとも進歩的な、共和的・民主的国家ですら、完全な同権をもたらはしなかつた。「自由と平等」のから高いスローガンを掲げたブルジョア国家は、吐き気のする、野蛮なやり方で、實際に、婦人の不自由と不平等をおおいやすく、ごまかしている。このごまかしをうだおせ！

プロレタリア婦人は、ブルジョア国家のあれこれの改良でなく、この国家を打倒し、プロレタリアートの國家権力を闘争し取らねばならない。この闘争の勝利と社会革命の達成のために、広範な婦人の参加と協力なくして不可能である。



婦人解放の

プロレタリアートが革命的に闘いながら権力を奪取するに至らなかった第二次大戦後のブルジョア民主主義制度のもとで、今日もなお幾千万、幾億のプロレタリア婦人、生産階級の妻たちが、現代の耐えがたい貧窮のもとにますます巧妙にしほりつけられている。

民族解放闘争の発展によって政治的独立を圖り取った植民地、半植民地において婦人の少なからぬ部分が、労働者・農民の革命的独立樹立に参加している。彼女達は社会主義をめざした婦人の解放事業をおこし進め、今日、国際的な規模でブルジョア民主主義婦人運動に対する分裂を組織している。

こうして、全世界の婦人の解放闘争はますます燃え拡がっている。プロレタリア諸国、被压迫諸國の資本主義・帝国主義・社帝に対する婦人の解放闘争の国際的な結びつきもさけられない。

世界ブルジョア共産主義革命の表現

ブルジョア民主主義婦人運動に対する分

裂を止揚し、全世界の婦人の差別、抑圧、傾向をも断固として克服することが必要である。帝国主義、植民地、半植民地、ロレタリア共産主義革命の前進と究極の勝利のためには、婦人の解放をブルジョア民主主義制度の改良、改革と帝国主義の補完へと導く日和見主義、社会排斥主義・女権論のブルジョア民主主義婦人運動

だけが、この国際共産主義婦人運動の分裂を組織している。また、小ブル急進主義の不平等からの解放を可能とする。世界ブルジョア民主主義制度の改変、改革と帝国主義の被压迫從属諸国の婦人と團結、連帯し、国際共産主義婦人解放運動の再建が不可欠である。

動と断固として手を切り、仮借なく闘わねばならない。また、小ブル急進主義の荒廃、衰弱に至るまでのありとあらゆる肉体の販売、古い差別的、反動的因子のためには、婦人の解放をブルジョア民主主義制度の改変、改革と帝国主義は、婦人の精神的、肉体的脅威を耐えが

たいものとしている。

今日、すべてこゝした事情によって、婦人の闘いと反抗も増大し、激化している。プロレタリア婦人の数は労働人口の半数を占め、「婦人が天の半分を支える」ことを明らかとし、その組織化と結束も比べもなく増大している。日本の場合における労働運動・社会運動は、これらの婦人なくして成り立たない。

にも拘らず、その大部分は、日本共産主義制度は、日本における婦人解放運動の強圧的手段とブルジョア民主主義の改革によって、天皇制権力の古い家父長的家族制が解体された。同時に、姦通罪の撤廃、結婚・離婚の自由、治安維持法の撤廃と婦人参政権、財産相続権等の男女の法制上の不平等が著しく緩和された。このことは、婦人の社会への進出と

その役割の増大を可能とする条件をつみ出した。

日本帝国主義の發展とブルジョア民主主義制度は、日本における婦人解放運動の強圧的手段とブルジョア民主主義の改革によって、天皇制権力の古い家父長的家族制が解体された。同時に、姦通

罪の撤廃、結婚・離婚の自由、治安維持法の撤廃と婦人参政権、財産相続権等の男女の法制上の不平等が著しく緩和された。このことは、婦人の社会への進出と

その役割の増大を可能とする条件をつみ出した。

日本帝国主義の發展とブルジョア民主主義制度は、日本における婦人解放運動の強圧的手段とブルジョア民主主義の改革によって、天皇制権力の古い家父長的家族制が解体された。同時に、姦通

罪の撤廃、結婚・離婚の自由、治安維持法の撤廃と婦人参政権、財産相続権等の男女の法制上の不平等が著しく緩和された。このことは、婦人の社会への進出と

その役割の増大を可能とする条件をつみ出した。

日本帝国主義の發展とブルジョア民主主義制度は、日本における婦人解放運動の強圧的手段とブルジョア民主主義の改革によって、天皇制権力の古い家父長的家族制が解体された。同時に、姦通

罪の撤廃、結婚・離婚の自由、治安維持法の撤廃と婦人参政権、財産相続権等の男女の法制上の不平等が著しく緩和された。このことは、婦人の社会への進出と

その役割の増大を可能とする条件をつみ出した。

日本帝国主義の發展とブルジョア民主主義制度は、日本における婦人解放運動の強圧的手段とブルジョア民主主義の改革によって、天皇制権力の古い家父長的家族制が解体された。同時に、姦通

(五)

■ 第二次大戦後、アメリカ帝国主義

の強圧的手段とブルジョア民主主義的諸

改革によって、天皇制権力の古い家父

長的家族制が解体された。同時に、姦通

罪の撤廃、結婚・離婚の自由、治安維持

法の撤廃と婦人参政権、財産相続権等の

男女の法制上の不平等が著しく緩和され

た。このことは、婦人の社会への進出と

その役割の増大を可能とする条件をつみ

出した。

日本帝国主義の發展とブルジョア民主

主義制度は、日本における婦人解放運動

の強圧的手段とブルジョア民主主義的

改革によって、天皇制権力の古い家父

長的家族制が解体された。同時に、姦通

罪の撤廃、結婚・離婚の自由、治安維持

法の撤廃と婦人参政権、財産相続権等の

男女の法制上の不平等が著しく緩和され

た。このことは、婦人の社会への進出と

その役割の増大を可能とする条件をつみ

出した。

日本帝国主義の發展とブルジョア民主

主義制度は、日本における婦人解放運動

(六)

日本帝國主義の發展とブルジョア民主

主義制度は、日本における婦人解放運動

の強圧的手段とブルジョア民主主義的

改革によって、天皇制権力の古い家父

長的家族制が解体された。同時に、姦通

罪の撤廃、結婚・離婚の自由、治安維持

法の撤廃と婦人参政権、財産相続権等の

男女の法制上の不平等が著しく緩和され

た。このことは、婦人の社会への進出と

その役割の増大を可能とする条件をつみ

出した。

日本帝國主義の發展とブルジョア民主

主義制度は、日本における婦人解放運動

の強圧的手段とブルジョア民主主義的

改革によって、天皇制権力の古い家父

長的家族制が解体された。同時に、姦通

罪の撤廃、結婚・離婚の自由、治安維持

法の撤廃と婦人参政権、財産相続権等の

男女の法制上の不平等が著しく緩和され

た。このことは、婦人の社会への進出と

その役割の増大を可能とする条件をつみ

出した。

日本帝國主義の發展とブルジョア民主

主義制度は、日本における婦人解放運動

の強圧的手段とブルジョア民主主義的

改革によって、天皇制権力の古い家父

長的家族制が解体された。同時に、姦通

罪の撤廃、結婚・離婚の自由、治安維持

法の撤廃と婦人参政権、財産相続権等の

男女の法制上の不平等が著しく緩和され

た。このことは、婦人の社会への進出と

その役割の増大を可能とする条件をつみ

出した。

日本帝國主義の發展とブルジョア民主

主義制度は、日本における婦人解放運動

の強圧的手段とブルジョア民主主義的

改革によって、天皇制権力の古い家父

長的家族制が解体された。同時に、姦通

罪の撤廃、結婚・離婚の自由、治安維持

法の撤廃と婦人参政権、財産相続権等の

男女の法制上の不平等が著しく緩和され

た。このことは、婦人の社会への進出と

その役割の増大を可能とする条件をつみ

出した。

日本帝國主義の發展とブルジョア民主

主義制度は、日本における婦人解放運動

(五) 大胆にして堅忍不抜の

九面よりつづく

共産同数年の歴史は、ブルジョア社会に根深い女性差別を体现し、温存・助長・

この現実を追認してきた。女性解放をブルジョア階級闘争の不可欠の一環として、労働者階級に闘い取ることを

呼びかけることが出来ず、思想的腐敗と墮落の沼に身を沈め、共産主義の原則を

掘りくずすことを許容してきた。

階級闘争の発展に照らされて、革命的

左翼の内部から女性の決起が始った。その一部は、これらの思想的腐敗を突き

くすし、女性解放を「革命思想」・綱領と革命党に体現することを、党的自己批

判・戦闘宣言として闘いつけてきた。

革命的左翼を貫く反スターマルクス主義を解体し、マルクス・レーニン主義の復権を図るに至ったことである。全てのプロレタリア

革命党建設へ進撃せよ

さして、このようにしてはじめて、我が

党は次のように言ふことができる。即ち、「党建設は一大事業である」と、我々が、

その遠くない将来において、確固とした

大衆的基本に立脚した強大な党に成長す

ることができるであつた。

基本命題を、更に具体化し、その全精力をかけて遂行していくならば、我が党は、

同志諸君

が、

党建設が進むわけでもない。

我が党は既に確固とした党綱領と規約を持つている。我々は、この綱領に立脚

して、大胆にして、堅忍不抜の強大な党

建設へ進撃しよう。当面する一時代の激

困難な時代にあって自然成長性に委ねて

いる。

我が党の機関紙活動を強め、十数万部

の発行部数と週二回以上の発行回数を持

つ機関紙をつくりあげよう。我が党を

ロレタリアート独裁の樹立に対して責任

を持つ党に育てあげよう。

我が党同志諸君、混迷と分散の時代を終

らせ、日本階級闘争にすばらしい時代を

築きあげるために奮闘しよう。

プロレタリアートの革命闘争の本質、目的、方法、そして手段について啓蒙活動をする。

党は、広範な婦人大衆をとりわけ効果的に実践的な实物教育であるすべての闘争に参加させる。

党は、広範な婦人大衆に対する共産主義

活動する。

党は、プロレタリア婦人の階級意識を強め、明確にして、彼女の革命的エネルギーと闘争能力を高めるために役立つあらゆる手段、処置を講じ、組織をつくる。

党は、広範な婦人大衆をとりわけ効

果的に実践的な实物教育であるすべての闘争に参加させる。

党は、

1976年3月25日

わが綱領の下、全国の共産主義者・労働者は団結せよ



共産同(红旗)中央委員会

一面より続く

経済主義とテロリズムの一時代に訣別を宣言せよ

1919年3月、コミニテルン結成大会(右側がレーニン)が行なわれた。

五十有余年の日本共産主義運動の歴史の中で、日本共産党が現代修正主義に転落してから、久しいことと訣別して、出発した共産主義者同盟は、その「反スターマルクス主義」の故に、共産主義の根本思想を巡る闘争に勝利しえないで、60年代の大半な戦闘の時代を画じつも、同盟は、テ派一臨時総会派」と「12・18ブン

続け、その思想的破壊を暴露し、

ロリズムと経済主義の両極に分裂した。

以後、70年代前半には、これら

の分解、抗争は、縮小再生産され

に至り、これが日本共産主義運動の見地が、首尾一貫して復権され

ねばならない。だから、数ヶ月に

唯物史観・階級闘争の理論の獲得、「労働階級の解放は、労働者階級自身の事業しかありえない」との原則の復権、そして、革命の根本問題は権力問題であり、プロレタリア独裁の思想は、綱領・組織・戦術全体の核心であること、ここに、マルクス・レーニン主義の見地が、首尾一貫して復権され

る。そこで日本共産主義運動の「红旗」を創刊することをお知らせする。

我が同盟は、「红旗」を思想

的統合の武器として、集団的

伝者、集団的煽動者、集団的

組織者として、全人民的政治暴

露を行なう新聞として、「階級闘争」

の建設とともに、旧来の両組

織の政治機關紙であった、「ア

ーリアの旗」を廃刊とし、機関紙

「红旗」を創刊することをお知

らせする。

红旗創刊にあたつて

「红旗」の内より誕生した分派の存在、これである。全国の先進的な労働者諸君。私は、红旗は、現在の日本共産主義運動の危機、経済主義とテロリズムに対する巨大な鐵道用車いとの原則の復権、そして、革命の根本問題をえぐり、誤りを克服し、決着づけることを決意した。革命的理論なくして、強固な革命はありえない。

資本主義に対する科学的批判、

唯物史観・階級闘争の理論の獲得、

「労働階級の解放は、労働者階級自身の事業しかありえない」との原則の復権、そして、革命の根本問題は権力問題であり、プロレタリア独裁の思想は、綱領・組織・戦術全体の核心であること、ここに、マルクス・レーニン主義の見地が、首尾一貫して復権され

る。そこで日本共産主義運動の「红旗」を創刊することをお知らせする。

我が同盟は、「红旗」を思想

的統合の武器として、集団的

伝者、集団的煽動者、集団的

組織者として、全人民的政治暴

露を行なう新聞として、「階級闘争」

の建設とともに、旧来の両組

織の政治機關紙であった、「ア

ーリアの旗」を廃刊とし、機関紙

「红旗」を創刊することをお知

らせする。

我が同盟は、「红旗」を思想

的統合の武器として、集団的

伝者、集団的煽動者、集団的

組織者として、全人民的政治暴

露を行なう新聞として、「階級闘争」

の建設とともに、旧来の両組

織の政治機關紙であった、「ア

ーリアの旗」を廃刊とし、機関紙

「红旗」を創刊することをお知

らせする。

我が同盟は、「红旗」を思想

的統合の武器として、集団的

伝者、集団的煽動者、集団的

組織者として、全人民的政治暴

露を行なう新聞として、「階級闘争」

の建設とともに、旧来の両組

織の政治機關紙であった、「ア

ーリアの旗」を廃刊とし、機関紙

「红旗」を創刊することをお知

らせする。

我が同盟は、「红旗」を思想

的統合の武器として、集団的

伝者、集団的煽動者、集団的

組織者として、全人民的政治暴

露を行なう新聞として、「階級闘争」

の建設とともに、旧来の両組

織の政治機關紙であった、「ア

ーリアの旗」を廃刊とし、機関紙

「红旗」を創刊することをお知

らせする。

我が同盟は、「红旗」を思想

的統合の武器として、集団的

伝者、集団的煽動者、集団的

組織者として、全人民的政治暴

露を行なう新聞として、「階級闘争」

の建設とともに、旧来の両組

織の政治機關紙であった、「ア

ーリアの旗」を廃刊とし、機関紙

「红旗」を創刊することをお知

らせする。

我が同盟は、「红旗」を思想

的統合の武器として、集団的

伝者、集団的煽動者、集団的

組織者として、全人民的政治暴

露を行なう新聞として、「階級闘争」

の建設とともに、旧来の両組

織の政治機關紙であった、「ア

ーリアの旗」を廃刊とし、機関紙

「红旗」を創刊することをお知

らせする。

我が同盟は、「红旗」を思想

的統合の武器として、集団的

伝者、集団的煽動者、集団的

組織者として、全人民的政治暴

露を行なう新聞として、「階級闘争」

の建設とともに、旧来の両組

織の政治機關紙であった、「ア

ーリアの旗」を廃刊とし、機関紙

「红旗」を創刊することをお知

らせする。

我が同盟は、「红旗」を思想

的統合の武器として、集団的

伝者、集団的煽動者、集団的

組織者として、全人民的政治暴

露を行なう新聞として、「階級闘争」

の建設とともに、旧来の両組

織の政治機關紙であった、「ア

ーリアの旗」を廃刊とし、機関紙

「红旗」を創刊することをお知

らせする。

我が同盟は、「红旗」を思想

的統合の武器として、集団的

伝者、集団的煽動者、集団的

組織者として、全人民的政治暴

露を行なう新聞として、「階級闘争」

の建設とともに、旧来の両組

織の政治機關紙であった、「ア

ーリアの旗」を廃刊とし、機関紙

「红旗」を創刊することをお知

らせする。

我が同盟は、「红旗」を思想

的統合の武器として、集団的

伝者、集団的煽動者、集団的

組織者として、全人民的政治暴

露を行なう新聞として、「階級闘争」

の建設とともに、旧来の両組

織の政治機關紙であった、「ア

ーリアの旗」を廃刊とし、機関紙

「红旗」を創刊することをお知

らせする。

我が同盟は、「红旗」を思想

的統合の武器として、集団的

伝者、集団的煽動者、集団的

組織者として、全人民的政治暴

露を行なう新聞として、「階級闘争」

の建設とともに、旧来の両組

織の政治機關紙であった、「ア

ーリアの旗」を廃刊とし、機関紙

「红旗」を創刊することをお知

らせする。

我が同盟は、「红旗」を思想

的統合の武器として、集団的

伝者、集団的煽動者、集団的

組織者として、全人民的政治暴

露を行なう新聞として、「階級闘争」

の建設とともに、旧来の両組

織の政治機關紙であった、「ア

ーリアの旗」を廃刊とし、機関紙

「红旗」を創刊することをお知

らせする。

我が同盟は、「红旗」を思想

的統合の武器として、集団的

伝者、集団的煽動者、集団的

組織者として、全人民的政治暴

露を行なう新聞として、「階級闘争」

の建設とともに、旧来の両組

織の政治機關紙であった、「ア

ーリアの旗」を廃刊とし、機関紙

「红旗」を創刊することをお知

らせする。

我が同盟は、「红旗」を思想

的統合の武器として、集団的

伝者、集団的煽動者、集団的

組織者として、全人民的政治暴

露を行なう新聞として、「階級闘争」

の建設とともに、旧来の両組

織の政治機關紙であった、「ア

ーリアの旗」を廃刊とし、機関紙